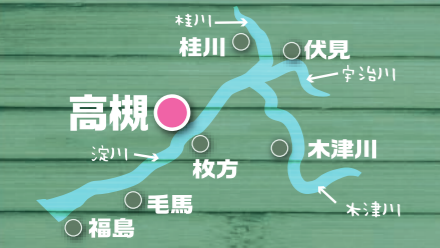


出張所の窓辺から

43



淀川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介いたします。今回の担当は高槻出張所です。

高槻出張所の管理区間は、摂津高槻市界～大阪京都府界の淀川右岸のエリアで、都市部でありながら豊かな自然環境が残る区域で、見どころもたくさんあります。

まずは、高槻出張所からほど近いところに、「大塚切れの洪水記念碑」があります。

ここは、今から約100年前の大正6(1917)年10月に、台風による大雨で当時の高槻町大塚の堤防が200mにわたって決壊した場所です。昭和5(1930)年に自然災害に対する警鐘として建立された記念碑です。

次に、淀川右岸の高槻市鶴殿～上牧に広がる鶴殿ヨシ原です。このヨシ原は淀川流域でも最大級で、野鳥や動植物の貴重な生息地であり、大阪みどりの百選や関西自然に親しむ風景100選にも選定されています。また、この鶴殿のヨシのうち良質なものは、雅楽の筆簀(ひちりぎ)のリード材料として珍重され、現在でも宮内庁の筆簀奏者に使用されています。このヨシ原は、昔か



ら多くの歌人や文豪の作品に登場していて、紀貫之の「土佐日記」や谷崎潤一郎の「蘆刈」の舞台となっています。

このほか、淀川河川公園大塚地区では、地域コミュニティや河川レンジャーと連携して、大塚地区の魅力向上に繋がる取り組みを行っています。「バッタのオリンピック」を例年秋季に開催するほか、昨年度は、公園利用者を楽しんでもらうとともに、淀川の河川環境を知ってもらうきっかけとなることを目的に河川公園の除草に工夫を凝らし、野草迷路を試行しました。

今後も、河川レンジャーと地域の交流・連携・協働を図り、川づくりを進めます。

今後、河川レンジャーと地域の交流・連携・協働を図り、川づくりを進めます。



大塚野草迷路



no. 55
令和3年7月発行
2021夏号



淀川の環境

について
考えてみよう!

木津川のオオバクサフジ (大葉草藤)

Vicia pseudo-orobus



オオバクサフジの花

木津川には京都府レッドデータブック(RDB)に記載された「絶滅危惧植物」が数多く生育しています。今回はそのような希少植物の一つ、オオバクサフジを紹介します。

「クサフジ」の仲間、花の形が同じマメ科の「藤」によく似た「草」なのでその名がありますが、単に「クサフジ」という名の植物は木津川ではあまり見かけません。

最近、木津川の土手でよく見かけるのは外来種の新ヨクサフジ。葉はカラスノエンドウに似て2cmまでの大きさの10～20枚の細長い形をしています。

オオバクサフジの葉は4～10枚と少なく、5cmほどの大きさの卵形をしています。「大きな葉」のクサフジなので「オオバクサフジ」なのです。その花は、青紫色で、新ヨクサフジに比べて一、二回り大きく、花期は新ヨクサフジの

花が見られなくなる8月頃から10月頃まで。

京都府RDBでは「絶滅寸前種」に分類され、レッドデータブック近畿でも「絶滅危惧種C※」に分類されています。木津川でも生息地はきわめて限られており、特に近年、生育地における新ヨクサフジの爆発的な繁茂とセイタカヨシの繁茂がオオバクサフジの生育を脅かしているのではないかとの思いが拭えません。他の植物の適切な除草などの保護活動が不可欠です。

レンジャー活動の中で、希少な動植物が多く生息する多様な自然の残された木津川の魅力を、1人でも多くの方々に伝えていけたらと思います。

※絶滅危惧種Cとは：絶滅の危険性が高くなりつつある種



木津川出張所管内河川レンジャー 大釜 智光



国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひ活用ください。

<https://www.river.go.jp>

河川レンジャーは淀川流域を舞台に行政と流域住民をつなぐ橋渡し役を担っています。詳しくはホームページをご覧ください。

淀川管内河川レンジャー 検索 <https://www.river-ranger.jp>

発行責任者：淀川管内河川レンジャー事務局 〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32 TEL:072-861-6801(平日9時～17時) ※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。



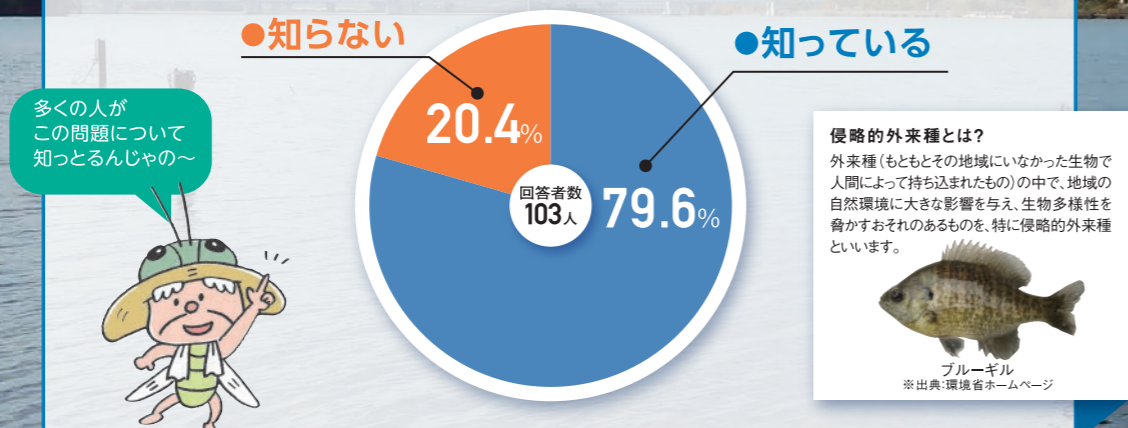
※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

表紙撮影地：十三干潟 (大阪市)
潮が引くとあらわれる淀川の河口にある干潟。淡水と海水が混じりあう環境を好む生き物がくらしています。

淀川環境について考えよう!

淀川は、自然豊かで希少種を含む多様な生物が生息しています。一方で、侵略的外来種による河川環境への影響が問題になっています。そこで、地域住民のみなさんに、淀川の外来種問題や環境保全の活動についてアンケートをしました。

Q.1 淀川では、侵略的外来種(ブルーギル等)が繁殖し、もともと淀川にいた生き物(在来種)が食べられる、すみかがうばわれることで、淀川の環境に影響を及ぼすことが問題となっています。このような問題についてあなたは知っていますか?



Q.2 あなたが、参加してみたいと思う川の環境保全活動はありますか。(複数回答可)



川の環境保全活動に参加しませんか

淀川管内河川レンジャーは、川に親しみ、川について一緒に考える人を増やそうと、年間を通じて自然観察会、魚捕り体験、外来種勉強会、河川美化活動等を開催しています。まずは、活動に参加して、身近な地域の川について知ることははじめませんか。

川の生き物観察会 外来種勉強会

淀川管内河川レンジャーの活動の最新情報は、ホームページでご覧いただけます。

川をじっくり見て、一緒に川について考えてみませんか。今回は、川的环境について考えてみます。



ある日、家族で枚方地区の淀川河川敷を散歩していると、川の中に小さな砂州が出来ていました。枚方市から寝屋川市の付近は川の流の影響で砂が溜まりやすいため、大小さまざまな砂州が生まれては消えています。

この地区では特段珍しくはない風景なのですが、子ども達にとっては「島が生まれる」という事実が信じられないほどの衝撃だったようで、「無人島が出来てる!行ってみたい!」と興奮気味に言い出しました。私もカヌーが趣味なので好奇心に火がついて、親子3人で淀川の無人島を目指す計画を立てることとなりました。

後日、天気の良い日を持って手持ちのカヌーを

淀川に運び込み、枚方河川敷から島を目指していざ出航です!(もちろん天候のチェックやルールを順守して、安全対策と装備も万全で!)

島まではわずか数分の旅路でしたが、子どもたちにとっては大冒険です。名著「トムソーヤの冒険」には川に浮かぶ無人島「ジャクソン島」が冒険の舞台として登場しますが、子ども達の目にも同じように映ったことでしょうか。何もない小さな砂州を、前人未踏の大地を発見したかのように喜び、島中で冒険と宝探しにいそんでいました。

都市河川でありながら、川らしい自然遊びも出来る淀川の砂州ですが、砂が溜まりすぎると船の航行や水の流に影が響いてしまう為、採取

船が定期的に砂を取っています。子ども達に大冒険を提供してくれたこの名も無き島も、ひと月もしないうちにすぐに消えてしまう事でしょう。

少し寂しい気もしますが、こうして水の力と営みを実感できるのも川の面白さの一つです。

採取船で集められた淀川の砂は、その後コンクリート等の建築資材に活用されています。

私達を楽しませてくれた島の砂たちも、もしかしら今は誰かの生活を人知れず支えているのかもしれないね。

枚方出張所管内 河川レンジャー 山口 遼太



River Rangers 2021 (河川レンジャー) 誕生

新しく7名の河川レンジャーが誕生し、今年度より活動をスタートします。

どんな活動を展開していくか、ご期待ください。

福島出張所管内 河川レンジャー 山本 雅彦

近年多発する大災害によって、「川=怖いもの」というイメージになります。しかし川は「怖い」という側面だけではないことを地域のみなさんと共有し、「淀川を大切にしたい」と思う人が増えるような活動に取り組めます。

毛馬出張所管内 河川レンジャー 岸田 俊徳

僕達はまだまだ水辺から遠い生活を送っていると感じています。日常生活の中にもっと河川を感じる事が出来れば、きっとそれを取り巻く課題も解決しやすくなるはずだと考えます。まずは、河川を近くに感じられるプログラムを提案していきます。

毛馬出張所管内 河川レンジャー 谷口 正子

自然にふれ心豊かになれる場所、淀川流域。先輩レンジャーさんの方々から、河川の持つ魅力をもっと知り学びたい。そしてその良さと課題を私なりに伝え広めたいと思っています。人と自然のつなぎ人になれるよう努めていきます。

枚方出張所管内 河川レンジャー 嘉内 寿

流れ豊かな淀川に育まれた歴史を感じ、そこに生きる生き物たちと触れ合うことで、流域をはぐくんできた自然に感謝し、生命の尊さを学べるような活動を河川レンジャーとして企画していきたいと思っています。

枚方出張所管内 河川レンジャー 福川 妃路子

私は消防団・水防団として防災・減災についての活動、またボランティアで水の環境を守る活動をしています。その経験を活かしながら市民の安全安心と淀川を守るための啓発活動をしていきたいと思っています。

伏見出張所管内 河川レンジャー 奥平 吉照

川を覗くとそこに住む人の環境への関心や配慮の程度がよく映し出されているように見えます。子ども達が川の歴史、川の働き、川遊びを知り、身近な川を好きになるような活動の企画・推進するつもりです。

伏見出張所管内 河川レンジャー アドバイザー 中村 恵子

先輩に学び、自分自身のスキル・キャリアアップを図り、「日々の暮らしと川をつなぐ」をテーマに、川を上手く活用できる水辺環境を行政と共同で作りたい。また、昨今の水害に対する防災意識を高める啓発活動に取り組んでいきたい。この情熱で河川レンジャーの任務に邁進していきたいと思っています。

River Ranger Adviser 2021 (河川レンジャー) アドバイザー 誕生

今年度 新たに河川レンジャーアドバイザーが誕生しました。

毛馬出張所管内 河川レンジャー アドバイザー 川嶋 秀一

河川レンジャーとして、多くの発見や学びがありました。これらの事柄を次に伝えていくための方法論や手法が大きく変わろうとしている今、私自身も学びつつ、淀川の魅力と課題に取組むコミュニティづくりを目指します。

※河川レンジャーアドバイザーとは、河川レンジャーとしての任期を終了後、新しいレンジャーの人材発掘や地域での活動を続ける人のことです。